



謹んで新春のお慶びを申し上げます

猛暑だった昨年は、米里地区では大きな災害はなく、比較的平穏な年でしたが、元日早々の能登半島地震に始まり、海外での戦火は収まらず、心を痛めることが多かった1年だったと思います。

年も明けて、今年、2025年（令和7年）は昭和百年にあたります。昨年の新語・流行語大賞に「ふてほど」が選ばれましたが、私も含め、この文を読まれている多くの皆さんが生まれ育ってきた昭和世代と、平成以降の世代では意識や感覚が違ってきているようです。よねさとづくりも、両世代の良さを活かし、新しい百年を目指していきたいものです。石破首相も掲げている「若者、女性に選ばれる地域づくり」に向けて、地域の良さは守り伝えるとともに、時代にそぐわないことはチェックしたり、新たに魅力を作り出しながら。

わが国では、もちろん米里地区でも、人口減少は受け入れざるを得ない現実です。しかし、単なる人数ではなく、前向きな人が多いかがポイントです。そのために、地域の外から新しい風を入れる方法もあります。少子高齢化を嘆くばかりでなく、オープンでにぎやかなよねさとづくりをめざして、一人一人ができることを、せっかくなら、多くの人とゆる～くつながって楽しく取り組んでいきませんか。

この1年が、皆様にとって、良い年でありますように。

令和7年1月

米里地区自治会・よねさとづくり協議会 会長 福田忠司

自治会組織の見直しへ



12月14日に開催された区長部会決算総会、それに続く自治会・よねさとづくり協議会全体会では、R6年中の活動経過報告とともに、R7年度に向けた方向性について協議されました。その中で、R6の開催実績をふまえ、運動会、米里まつり、敬老会等の地区行事については開催形態や日程など大きく見直している状況も報告されました。

あわせて、様々な組織で役員のなり手確保が難しくなっている中、今後の自治会組織の見直しについて協議されました。

米里地区各種団体協議会が「米里地区自治会」としてH15年に発足し、鳥取市が全市的に協働のまちづくりを進める中でH21年に「よねさとづくり協議会」が設置され、主要な地区行事や取組みが行われてきました。

こうした協議会設置の経緯も確認したうえで、

①組織の統廃合や業務削減の必要性、②2つの組織の類似性、③鳥取市や他地区の動向 などから、2つの組織を一本化する方向で検討することが確認されました。なお、検討項目は多々ありますので、新たに設ける検討委員会での検討を踏まえながら、段階的に進めていく予定です。

任期を終えられた区長、町内会長の皆様、1年間お世話になりました。

町内会だより ～中大路～

米里の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

中大路町内会は、令和6年12月現在39世帯あり、うち自治会加入34世帯、60歳以上の一人暮らし世帯が7世帯、60歳以上の世帯が10世帯、空き家1世帯と、町内会においても高齢化が進む中、過去には運動会、納涼祭等の行事を行っていましたが、今ではできなくなり、残っている行事でお地蔵さん、17日観音さんも参加者は少なくなりました。今後は、全戸が参加できるような行事を考えて、相互に支え協力し合える、住みよい町内会をめざしていきたいと思います。

（中大路 令和6年度区長 徳長信幸）



生活道路の除雪は、住民の皆さんの協力が必要です。

防災関係の新たな動き（主に雲山地区）

「面影地区防災避難訓練に雲山地区町内会が参加しました」

11月17日、面影地区防災避難訓練に雲山南・雲山中央・東雲山の3町内会が参加しました。面影地区防災避難訓練参加は初めてのことでした。参加者全体で70名余、雲山地区からは30名の参加でした。「鳥取市内で震度6強の地震があり、急いで近くの面影小学校へ避難する」という想定で訓練が行われました。

災害時の避難場所として「雲山から近い面影小学校へ避難したい」という雲山地区住民の声がある中、そうした声に応える最初の避難訓練となりました。訓練内容は、小学校体育館の中で、実際の面影小学校の校舎マップを使用し6班に分かれての避難所運営ゲーム（HUG）です。面影地区の方々と一緒に1つのテーブルを囲んで意見を交わしましたが、運営ゲーム中、何か心に熱く感じるものがありました。

今回の訓練参加に続き、雲山地区3町内会合同の支え愛マップづくりと避難ルート確認のためのマップ作りが必要となってきます。各町内会での初動訓練・除雪体制等を確認し、雲山合同への動きに進めましょう。

（自主防災会連絡協議会 会長 大倉 健）

訓練の様子（面影小学校体育館にて）



↑ これまでの「よねさとづくり通信」がご覧になれます。

米里まつりや米里マルシェの際に集まった能登半島大雨災害義援金（14,207円）を、12月17日に日本赤十字社鳥取県支部に届けました。
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

